

# ほぼ月刊 桑名歴史こぼなし

Vol.9 2019年11月1日発行

編集・発行：©社会福祉法人 桑名市社会福祉協議会 文化スポーツ振興課 TEL0594-22-8311

## ＜津田学園高校で学んだ水球日本代表角野友紀＞



平成 28 (2016) 年 8 月、ブラジル連邦共和国のリオデジャネイロで開催された第 31 回オリンピック競技大会の水球競技に日本が 32 年ぶりに出場しました。この代表メンバーにドライバー(フォワード)として選ばれたのが津田学園高等学校(野田)出身の角野友紀(1990～、かどのゆうき)です。平成 2 (1990) 年 9 月 14 日に大阪市大正区で生まれ、父角野日左夫の転勤のため四日市市ときわに移って常盤中央幼稚園(四日市市ときわ)の頃から津田スイミングスクール四日市校(四日市市久保田)に通っていました。常磐小学校(四日市市城西町)4年生のとき、「津田スイミングスクール四日市」に所属する中高生たちが水球の練習をしている光景を見て一目惚れし、「僕も水球がやりたい」と監督の館浩樹(1965～)に申し出たのが水球を始めたきっかけでした。平成 14 (2002) 年 3 月、第 24 回全国 JOC ジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会で 5 年生にして早くも全国大会出場を果たしました。常磐中学校(四日市市松本)ではバレーボール部に所属しましたが、卒業後は恩師の館が教鞭をとる津田学園高等学校に進学し、スクールバスで通学しました。

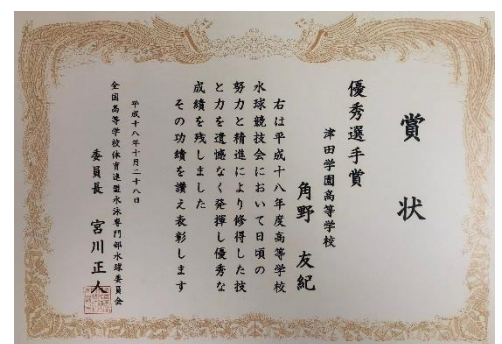
## ＜津田学園高校で国体とインターハイに 3 連続出場＞

高校時代について「在学時の思い出は、ほぼ練習のことしかありません」と言い切るほど練習に打ち込み、3 年生で主将を務めました。主な練習会場は三重県営鈴鹿スポーツガーデン(鈴鹿市御菌町、現在の三重交通 G スポーツの杜鈴鹿)のプールで、学校からは授業終了後に部のバスで移動しました。高校三年間のうち国民体育大会(国体)と全国高等学校総合体育大会(インターハイ)に 3 年連続で出場し、平成 19 (2007) 年の第 62 回国民体育大会では 5 位、平成 20 (2008) 年の第 63 回大会では 6 位、同年の全国 JOC ジュニアオリンピックカップ水泳競技大会では 4 位になりました。館監督によれば「得点は少なくともチームメイトを上手く使ってゲームメーカーとして指揮力を発揮した」といい、全国高等学校体育連盟から二度にわたって優秀選手賞を贈られました。

左側 平成 20 年 8 月、第 76 回全国高等学校総合体育大会(さいたま市大宮区、大宮公園水球場)

中央 津田スイミングスクール四日市校(四日市市久保田)、高校時代のゼッケンは 5 番でした

右側 平成 18 年 10 月 28 日、全国高等学校体育連盟優秀選手賞の表彰状(館浩樹氏提供)



## <サウスポーのエースとして日本代表入り>

平成 20 (2008) 年 1 月、鈴鹿市での合宿時に館の恩師で水球指導の第一人者である**日本体育大学** (東京都世田谷区) **清原伸彦** (1941~) 教授の目に留まり、平成 21 (2009) 年 4 月に同大の体育学部体育学科に進みました。水泳部水球ブロックに所属して主に**健志台キャンパス** (神奈川県横浜市青葉区) のプールで練習に励み、平成 23 (2011) 年 8 月の**第 26 回夏季ユニバーシアード**で初めて日本代表に入りました。平成 25 (2013) 年 3 月の卒業後は日本体育大学の水球チーム「**全日本体育大学**」(平成 28 (2016) 年に「**キングフィッシャー74**」としてクラブチーム化) とコンサルタント会社**オフィス 921** (東京都千代田区) に所属しました。平成 27 (2015) 年 12 月 20 日に**水球アジア選手権**で 4 戦全勝して五輪出場を決め、「**水球を始めて、初めて嬉し泣きをした瞬間**」だったといいます。平成 28 (2016) 年 5 月 20 日に**田中俊行** (1951~) 四日市市長を表敬訪問、21 日に**プラトンホテル四日市** (四日市市西新地) で**三重県水泳連盟** (桑名市東方) による壮行会が催され、8 月 1 日に**四日市市観光大使**に任命されました。8 月 5 日、**リオデジャネイロ**で開催された**第 31 回オリンピック競技大会**の開会式に**ポセイドンジャパン**の一員として参加した角野は「**規模の大きさ、注目度、全てに驚き、オリンピックになれたと実感した瞬間でした**」と語っています。日本は金メダルを獲得するセルビア共和国と同じ A グループとなって 8 月 6 日から 14 日にかけて予選に臨み、角野は 5 試合すべてに出場して 2 得点を挙げました。結果は 5 戦全敗したものの、出場自体が歴史的快挙でした。



## <指導者への転身と三重県とのつながり>

大会終了後の 9 月 4 日に**三重県スポーツ特別奨励賞**、10 月 4 日に**四日市市スポーツ功労賞**を贈られました。その後、10 月 7 日から 9 日にかけて開催された**第 92 回日本選手権水泳競技大会**での優勝を最後に引退し、平成 29 (2017) 年 2 月 25 日に**三重県体育協会** (鈴鹿市御薊町) から**優秀選手賞**を受賞しました。同年 4 月 1 日からは**明治大学付属中野中学・高等学校** (東京都中野区) の教員となって水泳部水球部門の顧問を務め、後進の指導にあたっています。実は平成 21 (2009) 年 4 月に角野が大学に進学して横浜市に移り住んだ時期に合わせて両親は**桑名市矢田**に転居しており、平成 30 (2018) 年まで暮らしていました。そのため、年末年始などを桑名の実家で過ごすことがあり、桑名については「**落ち着いた街の雰囲気や美味しい店がたくさんあり、私はとても好きな街でした。なかなか桑名に行く機会がないのですが、訪れた際は、桑名を存分に楽しみたいと思います**」と語っています。



上段 平成 28 年 8 月 5 日のリオデジャネイロ五輪開会式  
(中列一番右、角野友紀選手提供)

下段 日本体育大学健志台キャンパスのプール  
(神奈川県横浜市青葉区、日本体育大学提供)

